

入院診療計画書（口唇形成術を受けられる方へ 2日前入院用）

ID番号
病名（他に考える病名）

様

症状

病棟

号室

担当医師 印 担当看護師 担当薬剤師

月日	入院日（月日） 	手術前日（月日）	手術当日（月日） 	手術後1～2日 （月日）	手術後3～4日 （月日）	手術後5～6日 （月日）	手術後7～8日 （月日）
経過		手術に向けて準備を行います。	手術前 （ ）時に抱っこで手術室へ移動します。 手術後 手術後は病棟に戻ります。				
目標	・家族が病気を理解し、治療を納得、受容できる ・説明が理解できる。 ・手術の心構えができる ・患児が病棟に慣れる	風邪をひかずに手術を迎えられる	手術が安心して受けられる 	創を清潔に保てる	・創を清潔に保てる ・経口摂取ができる	・退院指導が理解できる	・創部の抜糸ができる ・テーピング治療について理解できる ・退院後の注意事項が理解できる
処置		腕に名前と血液型を書きます	・病院のパジャマに着替えます。 ・身につけている装飾品はすべてはずしましょう。 手術室から帰ってきてから、医師の指示があるまで酸素吸入をします	・毎日、創部の様子を観察します ・口腔ケアは医師の指示が出てから行います ・テープがはがれた場合は、貼り直します。テープが剥がれてしまいそうな時は、すぐにお知らせ下さい。			抜糸をします
観察	1日1回、体温測定を行います。		入室前に体温・脈拍・血圧測定を行います。	帰室後、体温・脈拍・血圧測定をします	1日1回、体温測定を行います。創部や手筒装着部の観察を行います。		
注射			 点滴を入れて帰ってきます。点滴がもれないように、点滴が入っている方の腕を保護させていただきます。	手術後2日目の夕方に抗生剤終了後、点滴を抜きます			
内服	飲んでいる薬があれば、すべて看護師にお知らせ下さい。			吐気、痛みなどあれば教えてください。坐薬にて症状緩和を和めます。		手術後3日目より、栄養チューブからお薬（抗生剤と整腸剤）が入ります。	経口摂取ができるようになったら、内服も経口より服用します。
食事	制限ありません 	麻酔科の医師が、水分やミルクの中止時間を指示しますのでお守り下さい。 <div style="border: 2px dashed yellow; padding: 5px; display: inline-block; text-align: center;"> 月 日 時～母乳中止 月 日 時～ミルク中止 月 日 時～透明水分中止 </div> 	・鼻から栄養チューブが入ってきます。 ・許可があるまでは経口よりお水やミルクは飲ませないで下さい。 ・帰室後4時間が経ったら診察し、許可が出れば鼻のチューブからミルクを入れます（白湯から始めます）	お腹が空いた時にミルクをチューブから入れますのでお知らせください 経管よりミルク投与時は頭を少し上げるように寝かせましょう。 		抜糸後より経口から哺乳瓶でのミルクが再開となります 	
行動	病棟から離れる時は、看護師にお知らせ下さい。	入浴をし体を清潔にします	手術室へは、ご家族と一緒に入室します。	・創部保護目的や栄養チューブを抜かないように、両腕を手筒で固定します。 ・入浴はできません。看護師が体拭きをお手伝いします。 ・抱っこ可能です。点滴や栄養チューブに注意してください。		・首からはお風呂に入れません。創を濡らさないようにお顔や髪を洗います。	創を濡らしての洗顔、洗髪ができるようになります
説明	・看護師より入院生活について説明いたします。 ・サークルベッドの使用方法について説明いたします。	・手術の準備について説明します ・準備物の確認をします ・午後には麻酔科の医師と手術室の看護師が訪問に来ます	ご家族は、手術が終わるまでは、病室または、病棟フロアでお待ち下さい。病棟を離れる際は、看護師にお知らせ下さい。	ポイント！ ○おしゃぶりや指しゃぶりをしないように注意しましょう。 ○抱っこは可能ですが、ご両親の胸で患児が顔 ・手術後、担当医より説明があります。			・医師より自宅処置方法について説明があります。 ・次回受診日の説明があります

注1) 病名は現時点で考えられるものであり、今後の検査等を進めていくにしたがって変わり得るものです。
注2) 入院期間については現時点で予想されるものです。

福島県立医科大学附属病院 パス承認番号 (No.25) 承認月日 (平成16年3月9日)

特別な栄養管理の必要性
有 ・ 無

上記内容について説明を受け同意いたしました。

署名：

続柄：